

富士フイルム(株)富士宮事業場 サステナビリティレポート 2021

ご挨拶

富士フイルム富士宮事業場は世界文化遺産富士山の南西山麓に位置し、清澄な空気、豊富な湧水の恩恵を受けて操業しております。1963年の創立以来、地域やステークホルダーの方々にはご理解とご支援を賜り、深く感謝しております。私たちは事業活動に伴う環境への影響を正しく認識し、廃棄物削減と資源循環の促進、CO2排出量の削減、化学物質の適正管理、地域の環境保全などに全力で取り組みます。今後も、新たな価値創出に取り組み、世の中のさまざまな社会課題解決、SDGsなどに積極的に貢献していきます。

また、昨年からの新型コロナウイルス感染症対策のため地域の皆さまとのコミュニケーションの場が減っておりますが、一日も早く落ち着き再開していただけることを願っております。

2021年10月
富士フイルム(株)
富士宮事業場長
土田秀世



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



*このレポートは、富士フイルム(株)富士宮事業場(関連会社含む)の環境・安全及び地域とのコミュニケーションについて、2020年度の活動や実績をまとめたものです。対象期間:2020年4月~2021年3月

富士宮事業場の概要

創立 1963年10月16日
所在地 〒418-8666 静岡県富士宮市大中里200番地
主要生産品目 医療及び工業用 X-レイフィルム、各種機能性フィルム、抗菌材料、写真印画紙用支持体
マネジメントシステム ISO9001、ISO14001、ISO45001 認証取得統合プログラム プレミアム・ステージ(上位認証)
2020年度概況 生産金額 524億円、従業員数 1,106人(関連会社含む、2021年3月末時点)
事業場敷地面積 358千m²、事業場建物面積 132千m²

環境負荷概要

主要原材料

PET原料、ゼラチン、硝酸銀など 23,582t

エネルギー

重油・灯油 16,216 kL
購入電力量 580 MWh
天然ガス 39,620 千Nm³
水 11,624 千m³

主要製品

X-レイフィルム、各種機能性フィルムなど 16,747t

環境成績

大気排出 VOC145t、CO₂120,306t、SOx3.9t、NOx96t
排水量 11,334 千m³
排水水質 BOD 8t、COD 23t、SS 10t、総リン量 0.3t
一般廃棄物 30t、産業廃棄物 1,758t、有価物率 64%

環境保全活動の概要

大気 各項目とも法令及び富士宮市との公害防止協定の規制値以下でした。
排水 法規制及び公害防止協定より厳しい事業場管理基準値を設け、各項目とも基準値以下でした。
ゼロエミッション 単純焼却・埋立ゼロの「ゼロエミッション」を継続しました(2001年以降継続中)。
環境モニタリング 定期的な地下水モニタリングにより、土壌や地下水の水質に問題ないことを確認しました。

【特集1】SVP2030 環境重点課題

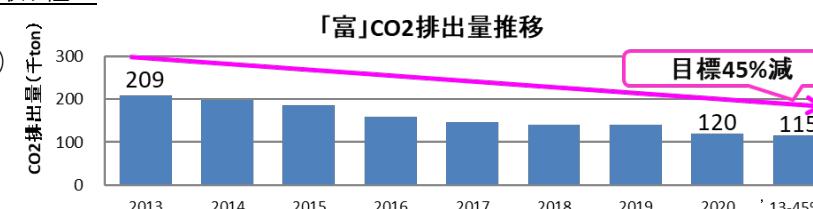
富士フイルムグループは2030年をゴールとした中長期CSR計画「Sustainable Value Plan2030(SVP2030)」の下、革新的技術・製品・サービスの提供など、事業活動を通じた社会課題の解決により一層取り組み、サステナブル社会への実現にさらに貢献する企業を目指しております。



SVP2030 環境重点課題への富士宮事業場の取り組み

1. 気候変動への対応

目標:CO₂排出量 45%削減(2013年度比)
ガスエンジンへの移行、まとめ生産、空調見直し等の省エネ活動等により順調に減少中。



2. 資源循環の促進

目標:①廃棄物 30%削減(2013年度比)《社内プロジェクトとして活動中》

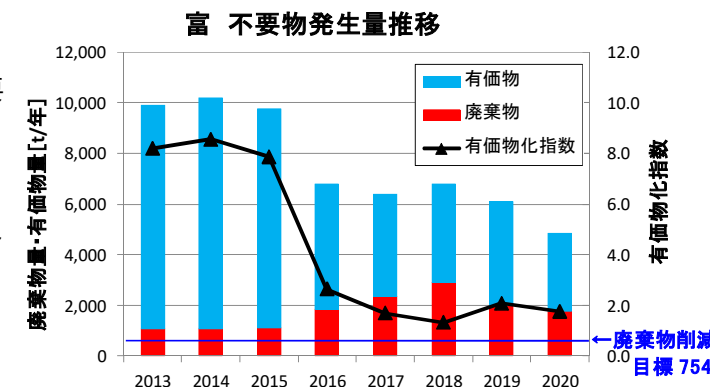
②有価物化指数(有価物量/廃棄物量) 1以上《達成》

③リサイクル指数(不要物量/単純処分量) 10以上《達成》

従来から、生産安定化や徹底した分別回収により有価物化を推進してきましたが、2016年から始まった中国を始めとする海外の輸入規制強化、原油価格下落により廃棄物が増加、有価物化指数は低下しました。

有価物化は市況の影響を大きく受けてしまい、廃棄物化、処理価格高騰のリスクがあります。更に欧米には環境に配慮した製造のできていないサプライヤーとは取引しない企業も出てきており、企業活動としても重要性が高まっています。

このような状況下、富士宮事業場では技術的なアプローチにより廃棄物の大幅削減を図るプロジェクトを2020年下期より開始。不要物を発生させない仕組みの構築、マテリアルリサイクル推進、薬品の構内処理化等について取り組んでおり、有価物の廃棄物化が進むなか、2020年度は対前年222t/年を削減。引き続き削減目標(754t/年)達成に向け、継続して取り組んでいきます。



【特集2】TBS 日曜劇場「半沢直樹」のロケ地に!

当事業場が「郊外の歴史ある老舗会社風の工場」の撮影シーンに合うとして、TBS 日曜劇場「半沢直樹」ロケ地に選ばれました! 撮影を受け入れるにあたり最も気を付けたことは、新型コロナウイルスの感染対策です。撮影関係者の皆さんはもとより、大物俳優さんにも富士フイルムグループの新型コロナ感染予防ガイドラインに則って、しっかりコロナ対策を実施しました。



撮影では、従業員もエキストラとして参加。参加者は緊張しながらも撮影スタッフからレクチャーを受け、本番ではスムーズに対応することが出来ました。実際の放送では、画面越しに同僚や先輩の名演技が見られ、自分たちが働く会社、工場が人気ドラマの撮影場所となることで、従業員の士気も向上しました。主演の堺雅人さん、賀来賢人さん、監督の福澤克雄さんと従業員の記念写真は、今も玄関ロビーに飾られています。当事業場へお越しの際は、是非ご覧ください。



環境保全活動

1) 廃棄物削減と3R※推進 ※リデュース・リユース・リサイクル
【特集1】をご覧ください。

2) 水質汚濁防止

河川放流水の水質は富士宮市との公害防止協定範囲内であることを維持しています。

分析項目	単位	法令 規制値	静岡県 条例値	公害防止 協定値	工場 管理値	実績 〔2019年〕	実績 〔2020年〕
pH(水素イオン濃度)	-	5.8~8.6	5.8~8.6	6.4~8.3	6.4~8.3	6.9~8.0	6.7~7.9
BOD(生物化学的酸素要求量)	mg/l	最大 160 平均 120	30 20	9 6	9 6	3.8 0.8	2.7 0.7
COD(化学的酸素要求量)	mg/l	-	最大 30 平均 20	16 8	13 8	6.3 2.2	5.4 1.9
浮遊物質(SS)	mg/l	最大 200 平均 150	40 20	20 12	5 3	1.4 0.6	1.6 0.8
フェノール類	mg/l	5	-	-	5	<0.5	<0.5
大腸菌群数	個/ml	3,000	-	-	3,000	2	30

また、敷地内の地下水でもすべての物質が環境基準値内を維持しています。

3) 大気汚染防止

各設備共にばいじんと窒素酸化物の濃度は、法規制値と協定値未満でした。また、硫黄酸化物の総量規制値も法規制値と協定値未満でした。

法規制	設備	ばいじん(単位 g/Nm ³)			硫黄酸化物(単位 Nm ³ /h)			窒素酸化物(単位 Nm ³ /h)		
		法規制値	協定値	実績値	法規制値	協定値	実績値	法規制値	協定値	実績値
濃度規制	3号発電ボイラー	0.15	0.01	未検出	-	-	-	150	130	100
	5号ガスタービン+4号廃熱ボイラー	0.15	0.10	未検出	-	-	-	150	100	73
	7~9号ガスエンジン(発電機)	0.05	0.04	未検出	-	-	-	600	200	120
	10~12号ボイラー	0.10	0.05	未検出	-	-	-	150	55	14
	10~12号加熱器(ボイラー)	0.10	0.05	未検出	-	-	-	150	55	43
	J-1, 2熱媒ヒーター(ボイラー)	0.30	0.10	未検出	-	-	-	180	130	76
	焼却炉4号機(ボイラー)	0.08	0.05	未検出	-	-	-	250	60	未検出
	2号発電ボイラー(予備設備)	0.15	0.02	未検出	-	-	-	210	150	83
総量規制	全設備合計	-	-	-	20.34	17.44	0.20	-	-	-

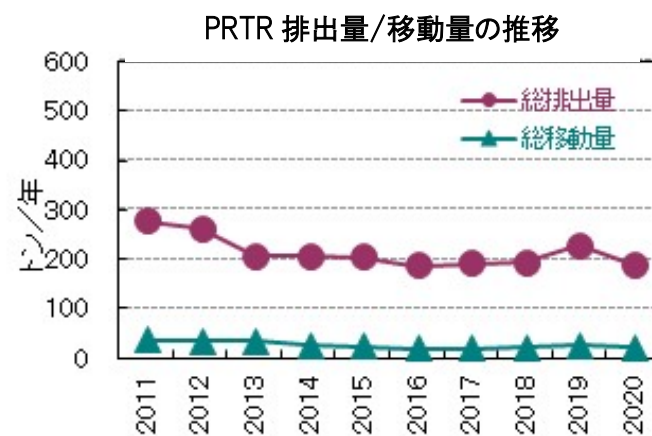
※ 協定値:富士宮市と締結した公害防止協定値。また、濃度規制と総量規制の数値は最高値です。

4) 化学物質の適正管理 ~PRTR 対象物質・自主管理対象物質の管理状況~

PRTR 法(化学物質排出把握管理促進法)に基づき、人の健康や生態系に影響を与えるおそれがあり、且つ環境中への排出量や移動量が年間1トン以上の化学物質について、毎年行政へ報告しています。

自主管理対象物質も含めた総排出量(大気排出と水域排出)はやや減少、総移動量(廃棄物)は例年並みという結果でした。土壌への排出はありません。

それ以外の原材料や研究・検査・工程管理用の化学物質についても、労働安全・環境保全・製品安全及び廃棄物管理などの総合的観点からリスクを評価、管理基準を設定のうえ使用するシステムを構築して管理・運用しています。



労働安全衛生

1) 労働災害ゼロへの取り組み

『全員が主役の活動で、危険の芽をつみとり、ゼロ災を実現する!』のスローガンのもと、深耕リスクアセスメント(深掘り型)の本格導入や、KY感度を養成する教室の導入を実施し労働災害ゼロに取り組み、2020年度は無災害を達成。

2) 交通加害事故ゼロへの取り組み

通勤途上の加害事故ゼロを目指し、ドラレコ動画の配信や、退門時に目にする位置に交通イラストの掲示を行うなど注意喚起を実施。交通事故抑制の意識UPに繋がりました。

3) 防災対策の推進

富士山ハザードマップ改訂に伴い、降灰量が増えることも予想され、除灰訓練を実施しました。

4) 安全教育・講習会・講演会の実施

マネキンに不安全作業をさせた模擬工程を作成し、リスクを抽出する事でKY感度を養う「KY感度養成教室(今年度 830名受講)」を導入しました。

5) 心身の健康増進への取り組み

「禁煙」「生活習慣良化」「がん検診受診率向上」「メンタルヘルス」を柱として、従業員の健康増進への取り組みを展開しています。禁煙サポートプログラム展開や長時間労働がもたらす健康障害の防止、カウンセリングや看護師面談、社内食堂でのヘルシーメニュー提供による健康増進の支援、その他定期的な健康情報発信による啓発活動を実施しました。

6) ワーク・スタイル・イノベーション(WSI)活動による働き方の変革

社内広報による啓発活動、有給休暇年間取得目標日数の設定、週2回の定時退社日放送等を通じて一人ひとりの意識改革を進め、併せて職場毎の業務効率化活動を進めて働き方の変革を推進しました。



KY感度養成教室



富士山噴火除灰訓練



リスクアセスメントの講習会

社会とのコミュニケーション

1) 事業場周辺の清掃

(2021年6月1日、参加者約500名)

事業場周辺道路や潤井川周辺などの清掃活動を行いました。その他、6月の環境月間に、環境教育、環境対策に繋がる提案活動、環境異常発生時の対応訓練、環境関係機器/設備の点検、廃棄物置場の点検と清掃などを実施しました。

2) 夏祭り、大中里地区環境対話集会

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、今年度は中止にしました。

3) 環境フェア

新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大している状況を鑑み富士宮市が開催中止を判断。

4) 事業場見学受入

2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の為、受入れを中止しています。

※新型コロナウイルス感染拡大の終息状況を見ながら、段階的に制限の緩和を進めていきたいと考えております。



事業場周辺の清掃



排水路の草取り

このレポートに関するご意見・お問い合わせは下記までお願いいたします。
富士フィルム株式会社 富士宮事業場 環境グループ
TEL:(0544)26-7175 FAX:(0544)26-7176